

令和7年度 平生町農業委員会視察研修報告

平生町農業委員会は、10月1日に町が農業施策として進めるオリーブの栽培、特産品化に向けた取り組みを行っている先進地を視察しました。

視察先の日本オリーブ株式会社（岡山県瀬戸内市）では、昭和24年に化粧用油「オリーブマノンバージンオイル」の販売を始めて以降、長年にわたってオリーブを使った化粧品、食品の販売が行なわれています。また、市内にある牛窓オリーブ園（10ha）には、6品種、約2,000本のオリーブが植樹されており、収穫祭を開催するなど観光農園として運営しているほか、スペインのトルトサオにも3品種、約3,100本のオリーブ園を運営されています。

視察では、オリーブの実が若く緑色のときに収穫したものを搾油することでさわやかな香りがするオリーブオイルになることや、搾油の行程などの説明を受けました。委員からは、収穫後のオリーブの実の管理方法や搾油機の性能、挿し木の方法についての質問がされるなど、活発な意見交換をすることができました。



視察の様子



イタリア製搾油機